

# 「第77期 定時株主総会」資料



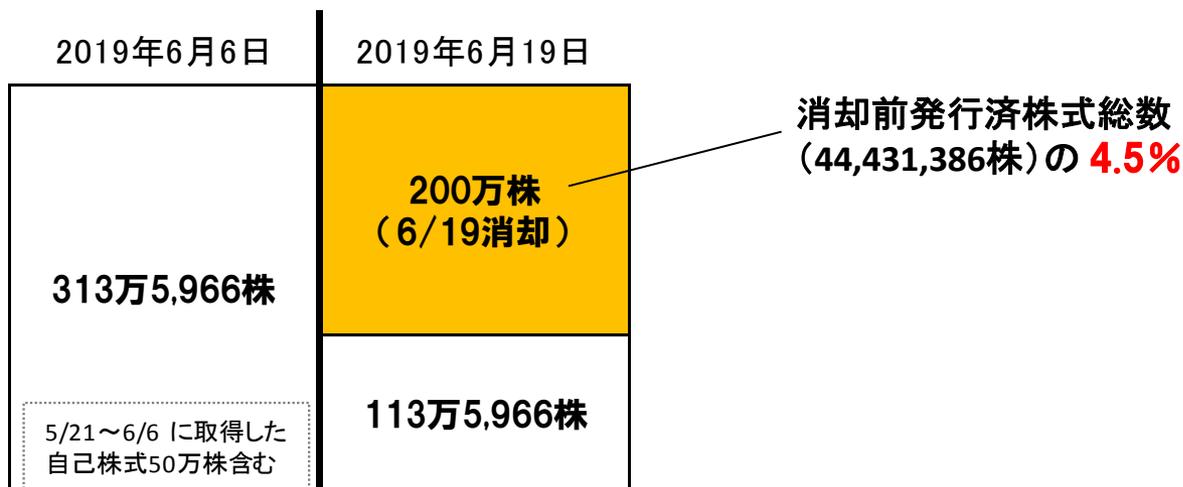
いちよし証券株式会社  
2019年6月22日(土)

## 自己株式の消却について

当社は、2019年6月11日開催の取締役会において、自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

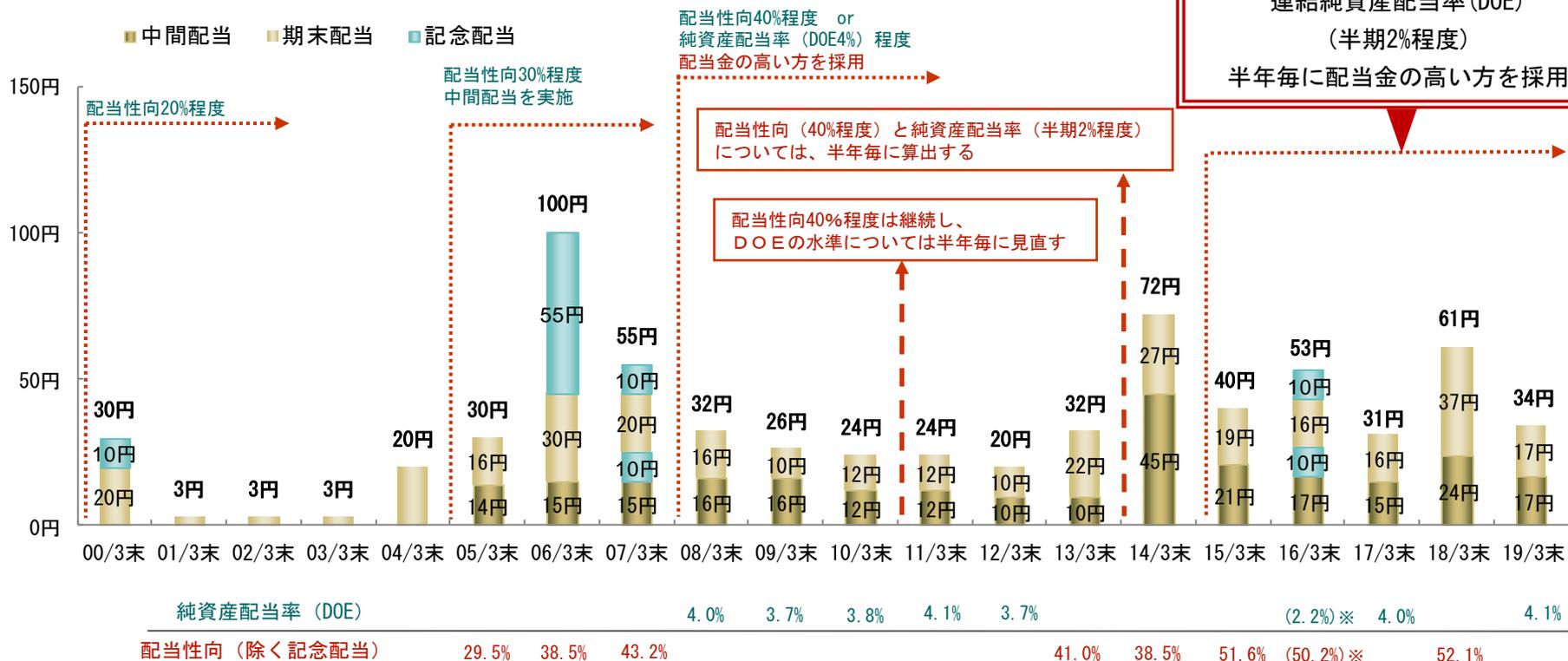
- |                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 自己株式の消却を行う理由 | トータルの株主還元の一環及び資本の効率化のため                           |
| 2. 消却する株式の種類    | 当社普通株式  |
| 3. 消却する株式の数     | <b>2,000,000株</b> （消却前発行済株式総数に対する割合 <b>4.5%</b> ） |
| 4. 消却日          | 2019年6月19日  |

## 保有自己株式の状況



## 配当の状況

### 配当額・配当性向等の推移（1株当たり）



## 自己株式の消却

	自社株式の取得/消却	平均買付単価	消却率
1998年9月～2004年1月	11,841,000 株	264.55 円	20.2%
2008年1月～2008年3月	1,699,200 株	1,032.31 円	3.5%
2008年11月～2009年1月	1,957,500 株	673.03 円	4.2%
2019年1月～2019年6月	2,000,000 株	870.53 円	4.5%
	<b>合計 17,497,700 株</b>		<b>合計 32.4%</b>

※16/3末については、中間配当につき配当性向、  
期末配当につきDOEを採用  
各々につき半期ベースにて計算した数値を記載

(参考)

2019年3月末発行済株式総数 44,431,386株  
(うち自己株式 2,635,963株)

2019年6月19日発行済株式総数 42,431,386株  
(うち自己株式 1,135,966株)

いちよし証券の概要	1
いちよし証券の営業拠点	2
経営環境	3

## 第一部:2019年3月期決算(連結)の状況

1. 収支の状況	4
2. 純営業収益の内訳	5
3. 受入手数料の内訳	6
4. 販売費・一般管理費の内訳	7
5. 貸借対照表及び財務の状況	8

## 第二部:業績のハイライトと 中期経営計画の進捗状況

1. 受入手数料の推移	9
2. 預り資産の推移	10
3. コストカバー率(月額平均)の推移	11
4. 幹事会社数の推移(累計)	12
5. 中期経営計画の進捗状況	13

## 第三部:今後の経営戦略

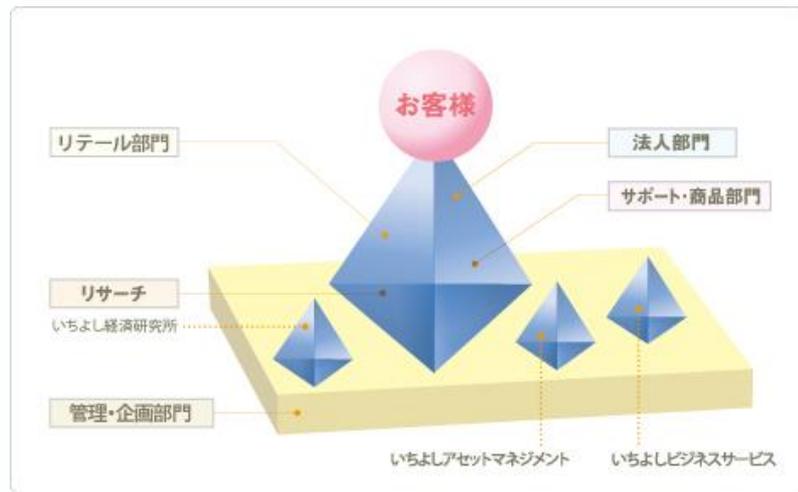
1. 中期経営計画達成に向けたリテール部門の 「預り資産」拡大と内外機関投資家の運用ニーズへの対応	16
2. 「トライアングル・ピラミッド経営」による シナジー効果	18
3. コーポレート・ガバナンスの強化充実	23

(2019年3月末現在)

創 立	1950年8月18日
上 場 市 場	東京証券取引所第1部 ( 東京・大阪証券取引所第1部指定 2006年3月 ) ( 東京・大阪証券取引所第2部上場 1989年4月 )
資 本 金	145億77百万円
発行済株式総数	44,431,386株 (うち自己株式 2,635,963株)
営 業 拠 点	東京本店および49ヵ店(2019年5月現在)
従 業 員 数	1,082名(連結ベース)

連結子会社	資本金	いちよし証券議決権比率
いちよし経済研究所	20百万円	100.0%
いちよしアセットマネジメント	490百万円	97.0%
いちよしビジネスサービス	240百万円	100.0%

## トライアングル・ピラミッド経営



当社グループ全体に占めるいちよし証券の比率は、  
総資産比率93.9%、営業収益比率83.8%

**全国49カ店**  
(2019年5月現在)

## ■ 近畿地方19カ店

- 統合6地方証券
- |             |           |
|-------------|-----------|
| 環証券(和歌山県)   | 飯田証券(長野県) |
| 佐世保証証券(長崎県) | 伊勢証券(三重県) |
| 大北証券(岩手県)   | 西脇証券(兵庫県) |

- ・大阪支店
- ・難波支店
- ・今里支店
- ・針中野支店
- ・石橋支店
- ・岸和田支店
- ・枚方支店
- ・八尾支店
- ・伏見支店
- ・西宮支店
- ・神戸支店
- ・加古川支店
- 西脇支店
- 加西支店
- 2014年12月1日 統合
- ・高田支店
- ・学園前支店
- ・御坊支店
- ・田辺支店
- 環支店
- 2010年4月12日 統合

## ■ 東北地方2カ店

- 大北盛岡支店
- 大北水沢支店
- 2010年10月28日 資本参加
- 2013年3月4日 統合

## ■ 中国・四国地方3カ店

- ・岡山支店
- ・倉敷支店
- ・小豆島支店

## ■ 九州地方5カ店

- ・大牟田支店
- ・プラネットプラザ福岡
- 佐世保支店
- 諫早支店
- 唐津支店
- 2011年1月4日 統合

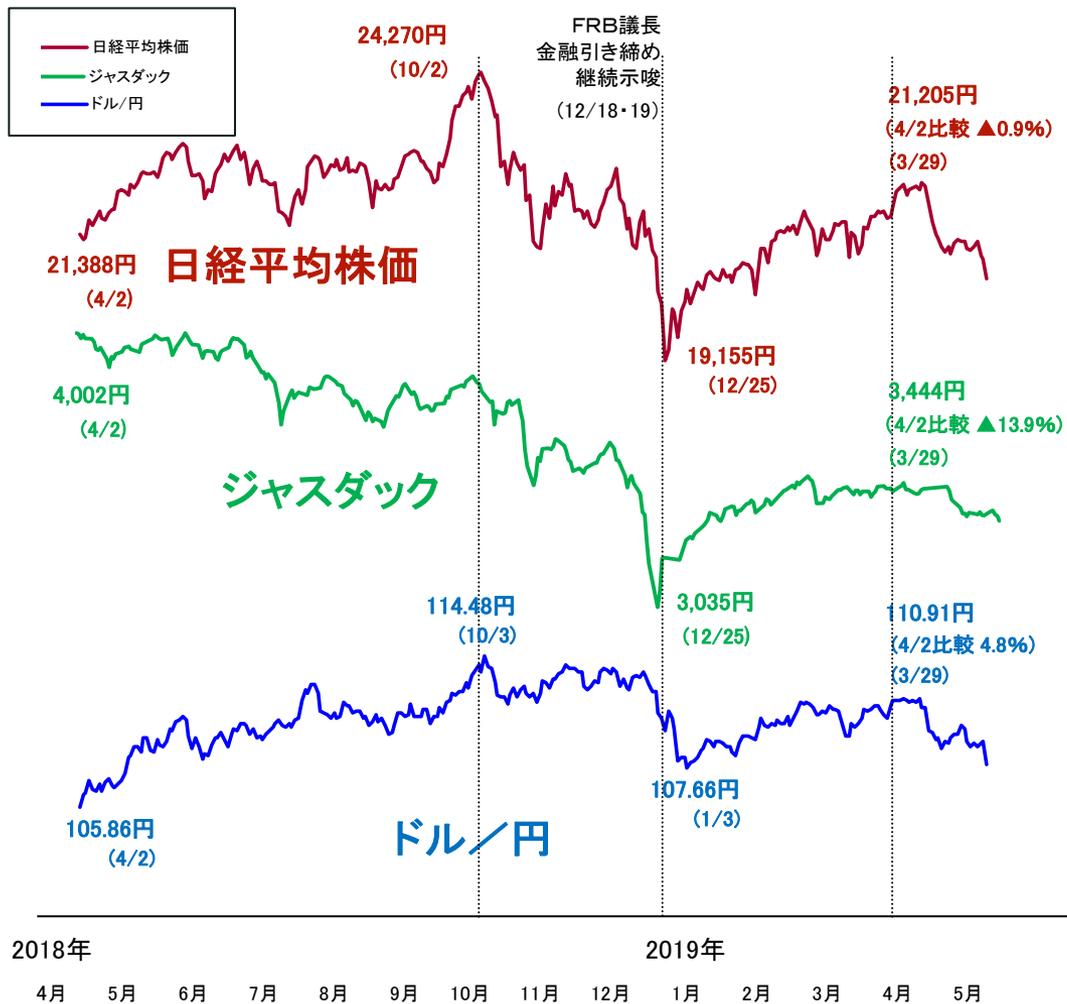
## ■ 関東地方14カ店

- ・銀座支店
  - ・プラネットプラザ中野
  - ・プラネットプラザ成増
  - ・赤坂支店
  - ・中目黒支店
  - ・吉祥寺支店
  - ・横浜支店
  - ・プラネットプラザ小田原
  - ・上大岡支店
  - ・プラネットプラザ向ヶ丘
  - ・浦安支店
  - ・千葉支店
  - ・越谷支店
  - ・桜生活・年金サポート成増オフィス
- (本店)(いちよしダイレクト)

## ■ 中部地方6カ店

- ・名古屋支店
- ・岡崎支店
- 飯田支店
- 伊那支店
- 2010年2月24日 資本参加
- 2011年1月4日 統合
- 伊勢支店
- プラネットプラザ志摩
- 2012年2月6日 統合

市場の推移(2018年4月～2019年5月)



一日平均売買代金

東証一部

2019年3月期 28,550億円

2018年3月期 29,570億円

増減率 -3.4%

ジャスダック

2019年3月期 584億円

2018年3月期 871億円

増減率 -32.9%

## **第一部：2019年3月期決算(連結)の状況**

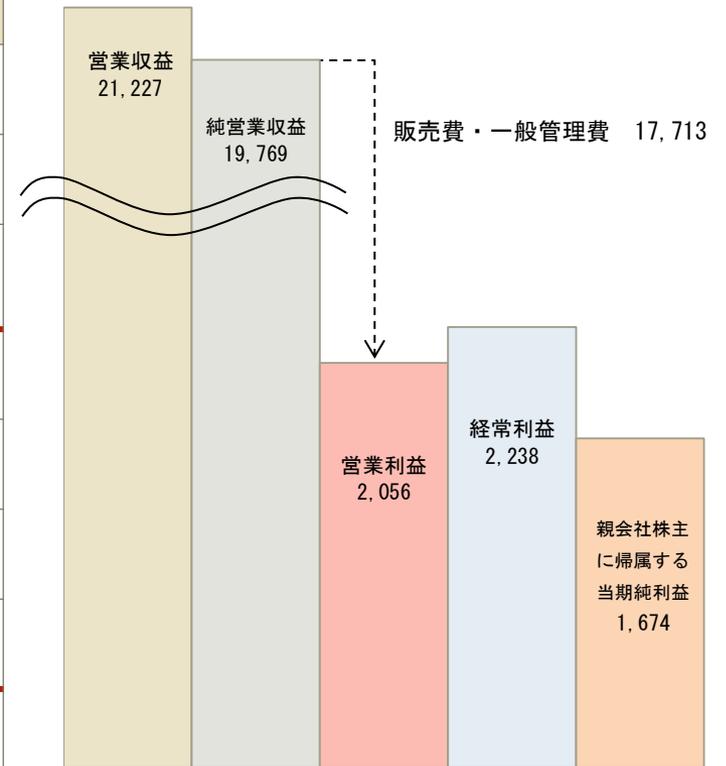
---

- ◆ 営業収益は、前期比52億7,400万円（19.9%）減少の212億2,700万円
- ◆ 経常利益は、前期比49億9,000万円（69.0%）減少の22億3,800万円
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比33億2,000万円（66.5%）減少の16億7,400万円

（単位：百万円）

	2018年 3月期	2019年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
営業収益	26,502	21,227	▲19.9%	▲5,274
純営業収益	25,069	19,769	▲21.1%	▲5,300
販売費・ 一般管理費	17,928	17,713	▲1.2%	▲215
営業利益	7,141	2,056	▲71.2%	▲5,084
経常利益	7,229	2,238	▲69.0%	▲4,990
特別損益	▲56	264	-	320
法人税等	2,156	803	▲62.8%	▲1,353
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,994	1,674	▲66.5%	▲3,320

（単位：百万円）



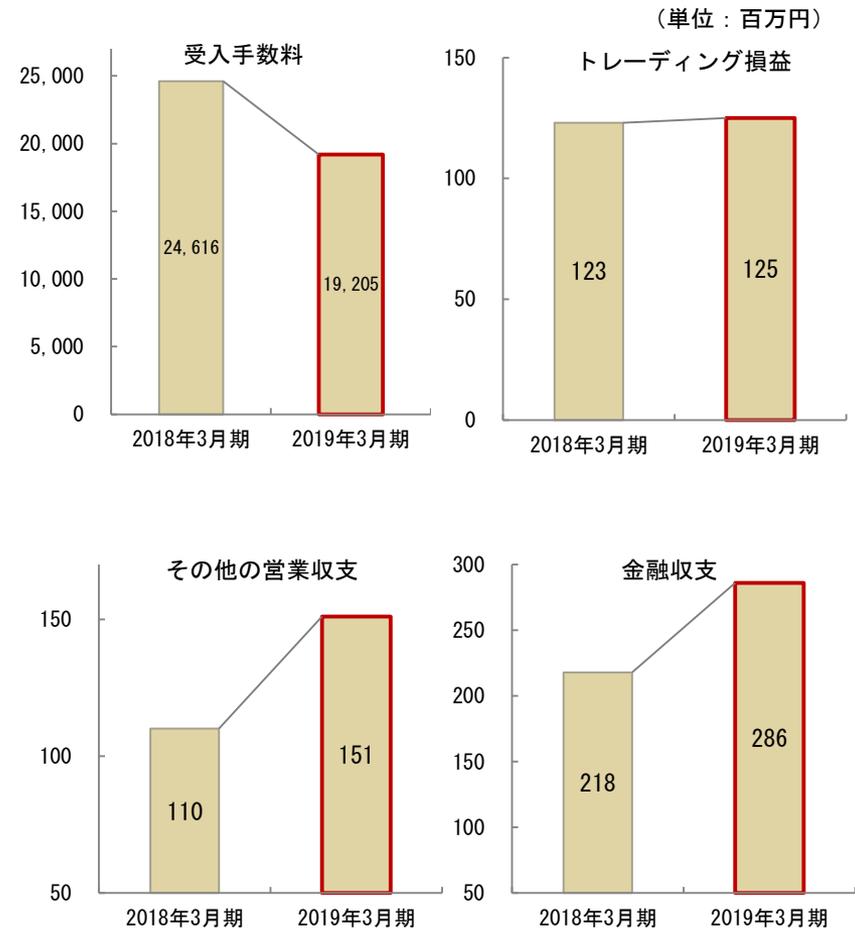
2018年4月1日～2019年3月31日

## 2. 純営業収益の内訳

◆受入手数料は、募集・売出しの取扱手数料及び委託手数料の減少等により前期比54億1,000万円（22.0%）減少の192億500万円

(単位：百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
受入手数料	24,616	19,205	▲22.0%	▲5,410
トレーディング 損益	123	125	1.6%	2
その他の 営業収 支	110	151	36.8%	40
金融収 支	218	286	31.0%	67
合計	25,069	19,769	▲21.1%	▲5,300



### 3. 受入手数料の内訳

- ◆株券の委託手数料は、前期比26億1,000万円（27.1%）減少の70億2,000万円、投資信託の募集・売出し手数料は、前期比28億2,300万円（42.1%）減少の38億8,100万円、その他の受入手数料（信託報酬等）は、前期比2億1,300万円（3.2%）増加の68億8,400万円
- ◆引受け・売出し手数料は、新規公開企業37社、既公開企業に係る公募・売出しは6社の幹事・引受けシンジケート団加入となり、前期比3億300万円（53.2%）減少の2億6,600万円

（単位：百万円）

	2018年 3月期	2019年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
受 入 手 数 料	24,616	19,205	▲22.0%	▲5,410
委託手数料の主な内訳				
株 券	9,630	7,020	▲27.1%	▲2,610
募集・売出し手数料の主な内訳				
投 資 信 託	6,704	3,881	▲42.1%	▲2,823
引受け・売出し手数料の主な内訳				
新 規 公 開	389	210	▲45.9%	▲178
既 公 開	180	56	▲68.9%	▲124
計	570	266	▲53.2%	▲303
その他の受入手数料の主な内訳				
信 託 報 酬 等	6,670	6,884	3.2%	213
信 託 報 酬 等 以 外	773	802	3.7%	28
計	7,444	7,686	3.3%	242

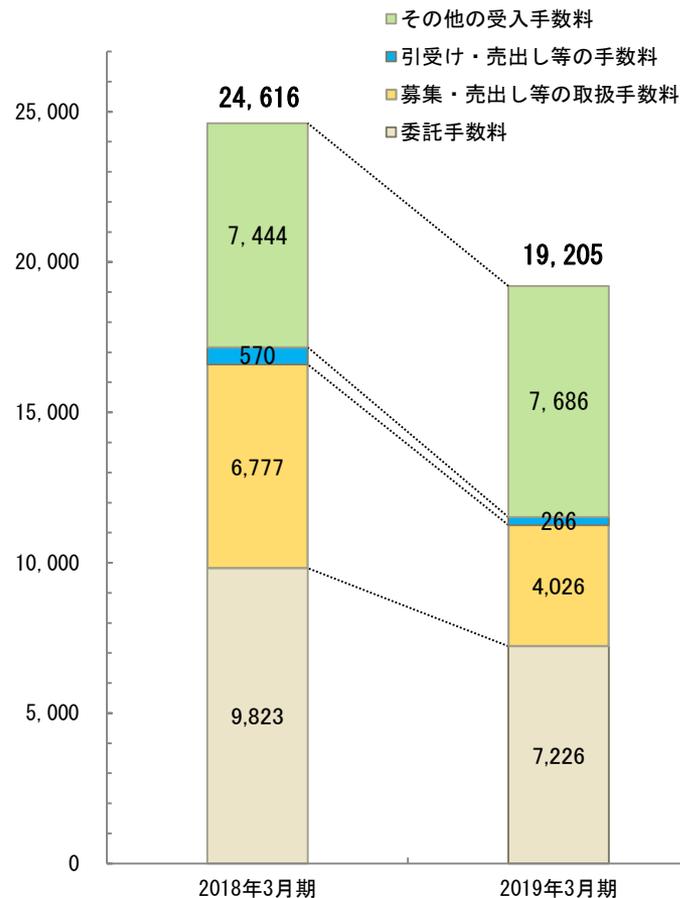
<参考>

（単位：億円）

投 信 募 集 額	3,519	2,426	▲31.1%	▲1,092
-----------	-------	-------	--------	--------

※ ラップ販売額を含む。

（百万円）



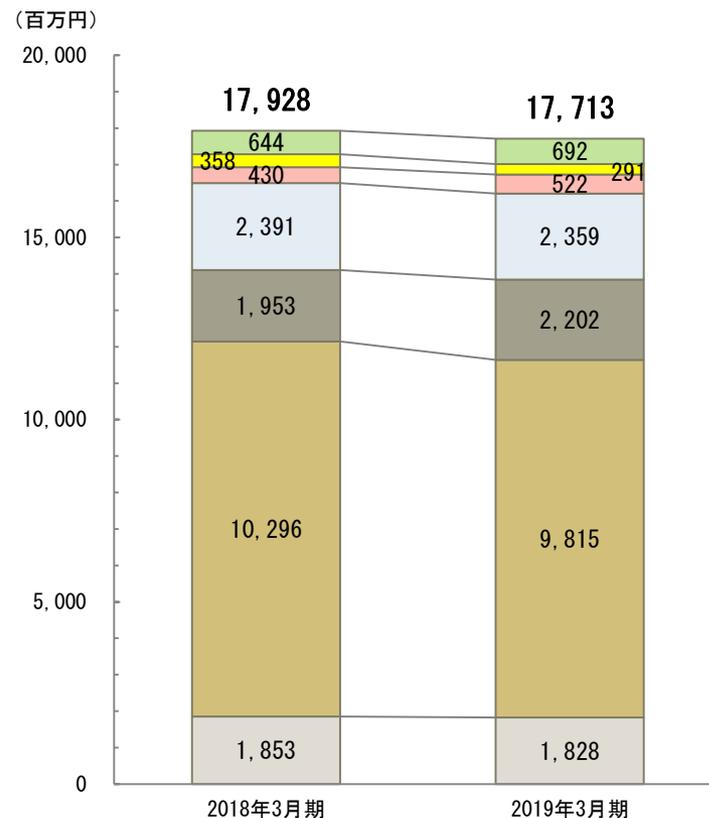
## 4. 販売費・一般管理費の内訳

◆販売費・一般管理費は、人件費、租税公課等の減少により前期比2億1,500万円（1.2%）減少の177億1,300万円

(百万円)

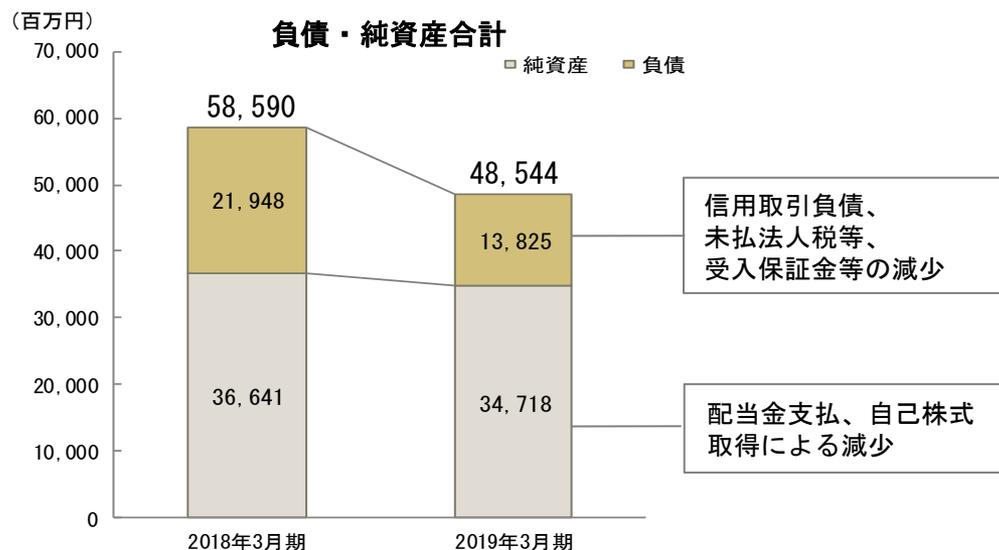
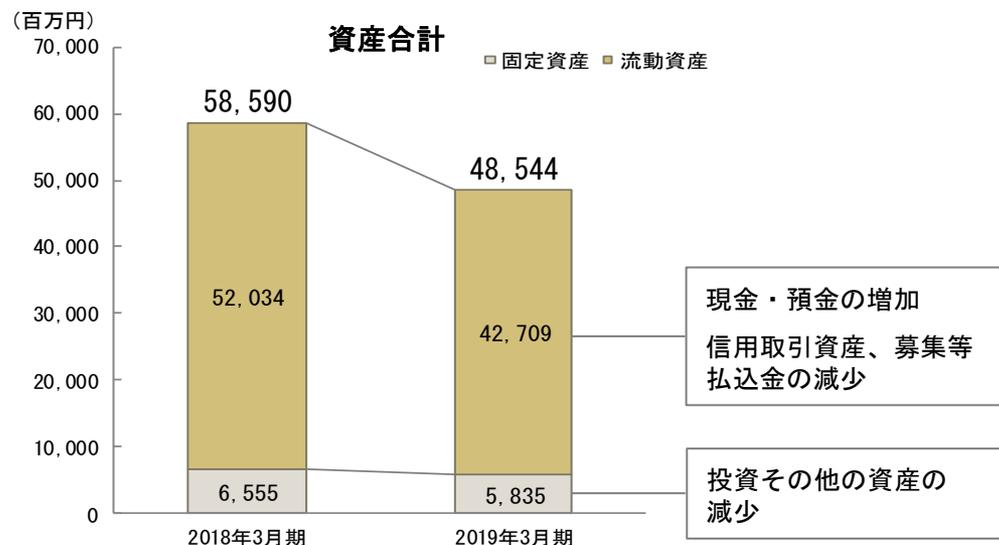
(単位：百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	前期比 増減率	前期比 増減額
取引関係費	1,853	1,828	▲1.3%	▲24
人件費	10,296	9,815	▲4.7%	▲481
不動産関係費	1,953	2,202	12.7%	248
事務費	2,391	2,359	▲1.4%	▲32
減価償却費	430	522	21.4%	92
租税公課	358	291	▲18.5%	▲66
貸倒引当金繰入	1	-	-	▲1
その他	642	692	7.8%	50
合計	17,928	17,713	▲1.2%	▲215



■ 取引関係費   
 ■ 人件費   
 ■ 不動産関係   
 ■ 事務費  
■ 減価償却費   
■ 租税公課   
■ その他

## 貸借対照表



## 財務の状況

	2019年 3月期	前期末比 増減
自己資本比率 (%)	71.2	9.2
1株当たり純資産 (円)	827.53	▲22.56
自己資本規制比率 (単体) (%)	552.9	▲47.5

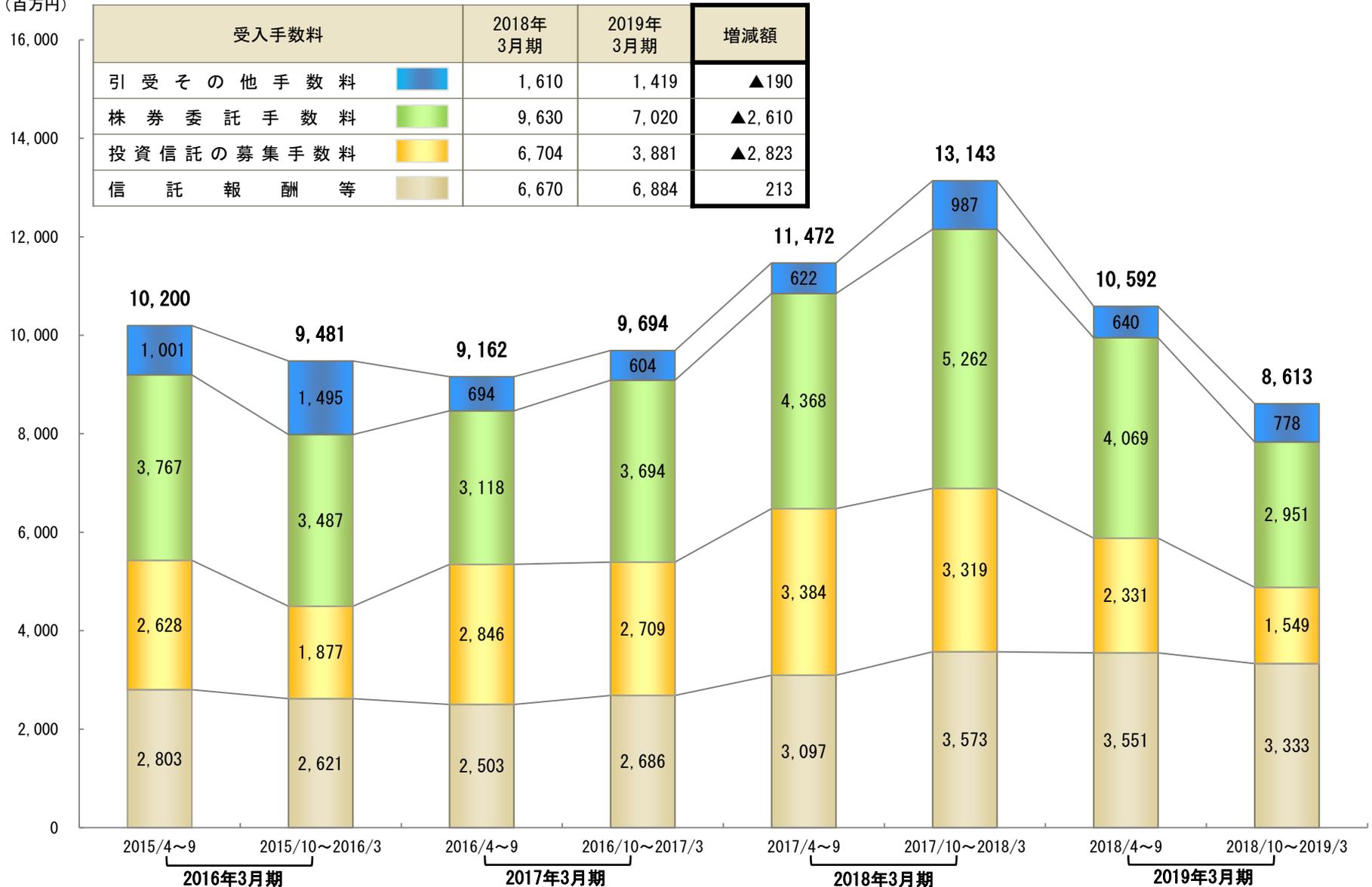
	2019年 3月期	前期比 増減
1株当たり純利益 (円)	39.25	▲77.75
自己資本純利益率 (ROE) (%)	4.7	▲9.8

## **第二部：業績のハイライトと中期経営計画の進捗状況**

---

# 1. 受入手数料の推移

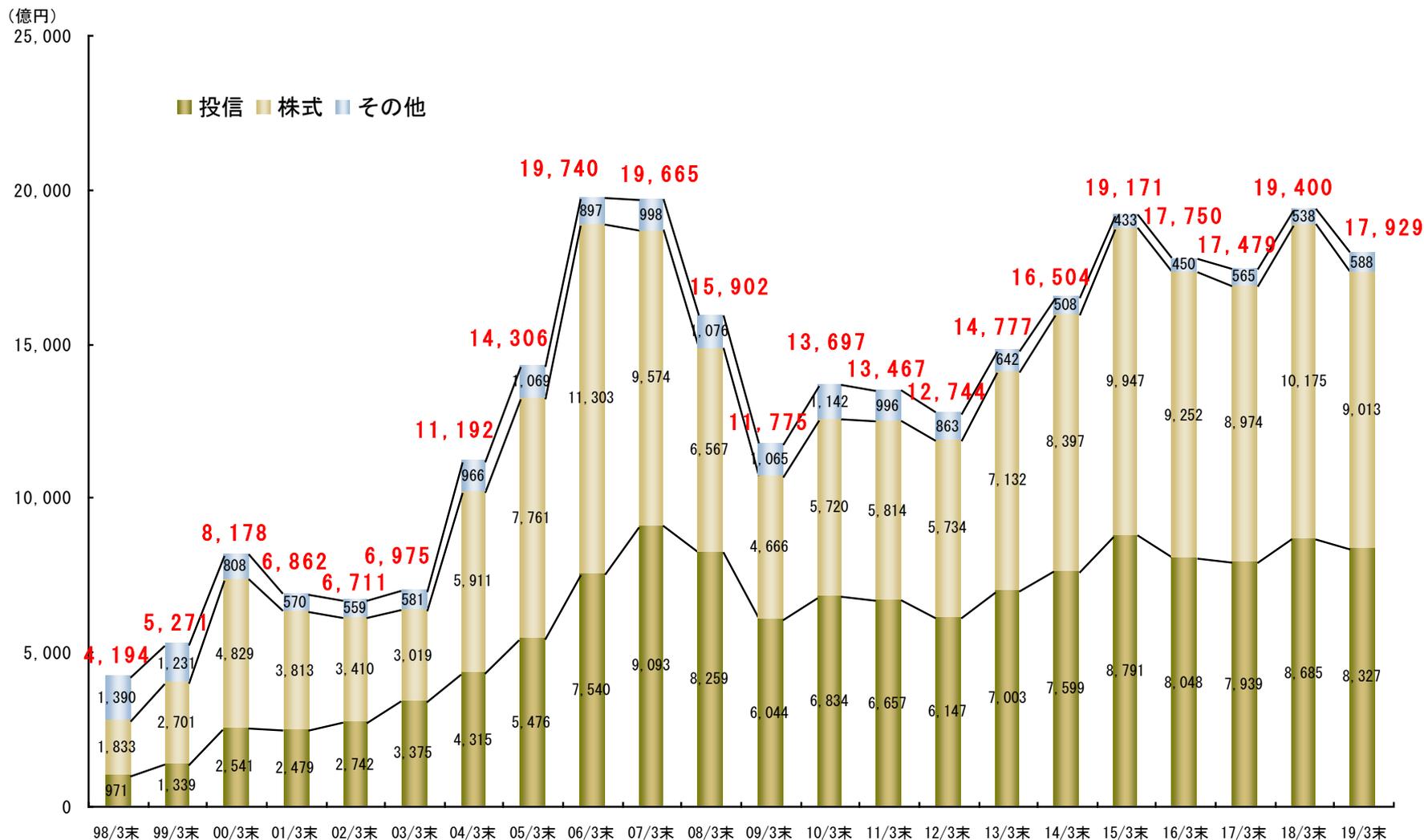
(百万円)



## 2. 預り資産の推移

預り資産

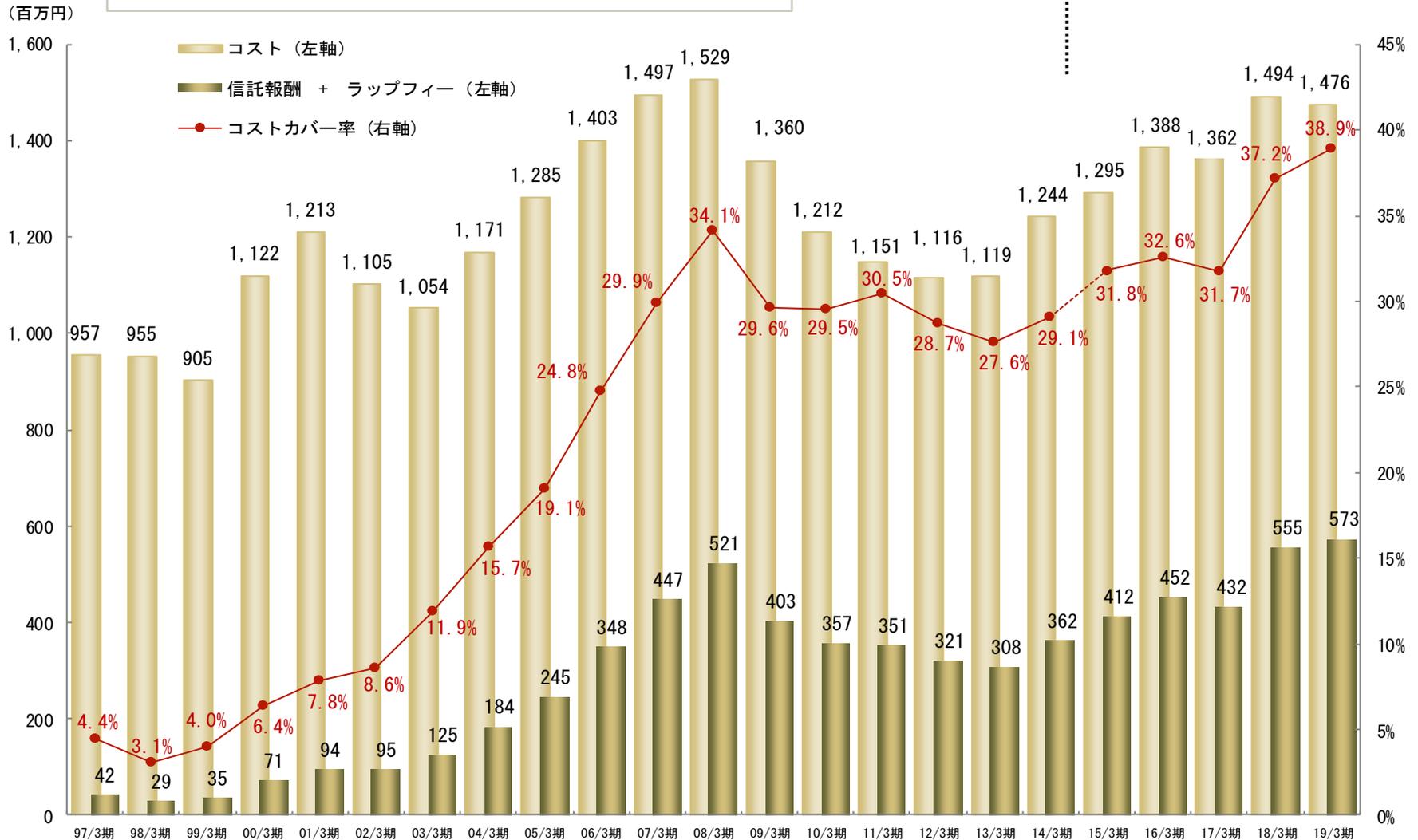
お客様からの信頼のバロメーター  
いちよし証券の基礎体力のバロメーター



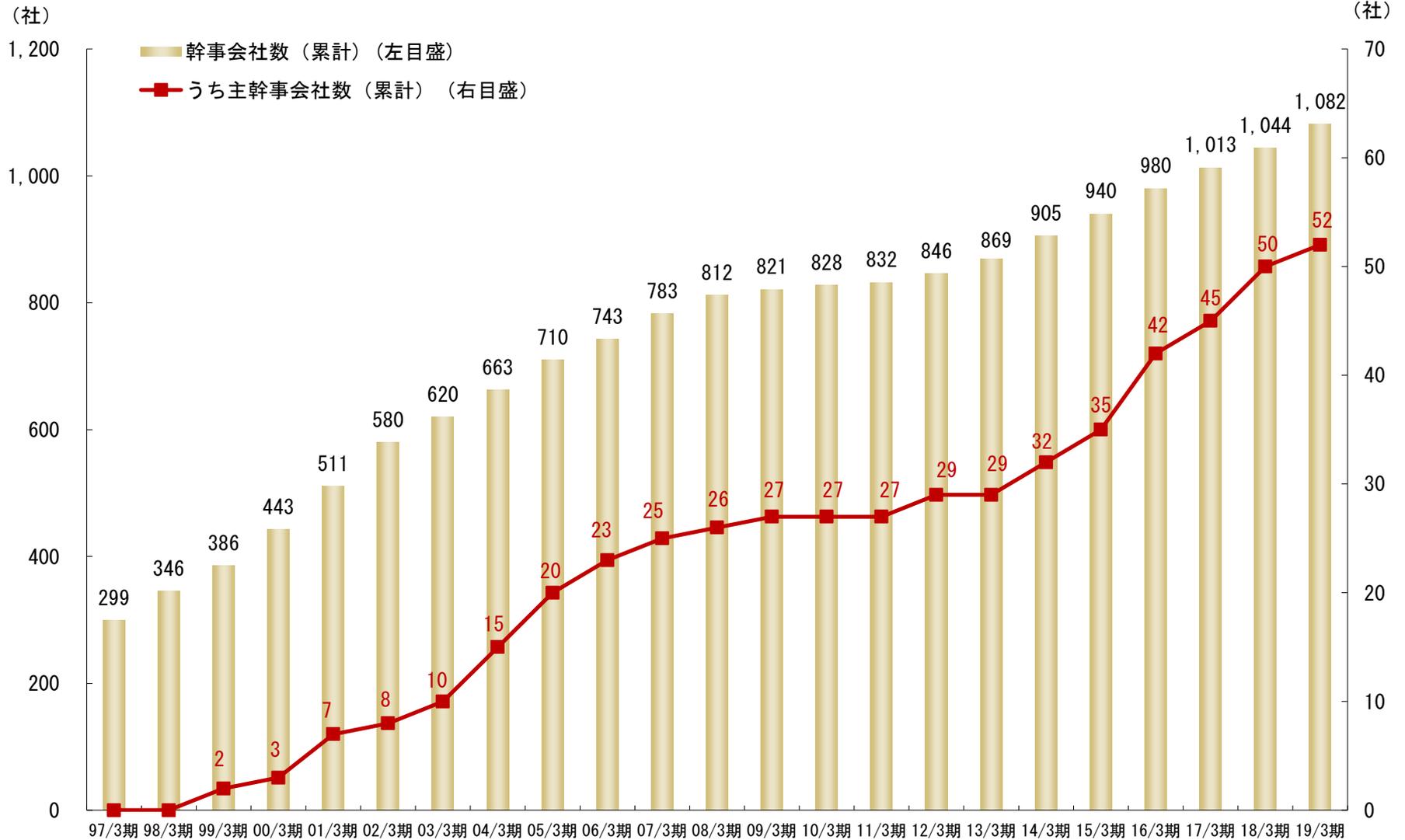
### 3. コストカバー率(月額平均)の推移

$$\text{※ コストカバー率} = \frac{\text{信託報酬} + \text{ラップフィー}}{\text{コスト (販売費・一般管理費)}} \times 100 (\%)$$

単体 ← → 連結



# 4. 幹事会社数の推移(累計)



2016. 9

預り資産 16,532  
 株式 8,575  
 投信 7,102  
 ラップ 402  
 債券 (その他) 451

ROE 6.6%

(2017年3月期第2Q累計年率換算)

主幹事44社

2019. 3

預り資産 17,929  
 株式 9,013  
 投信 7,145  
 ラップ 1,181  
 債券 (その他) 588

ROE 4.7%

(2019年3月期)

主幹事52社

2020. 3

預り資産 35,000  
 株式 19,200  
 投信 13,200  
 ラップ 2,000  
 債券 (その他) 600

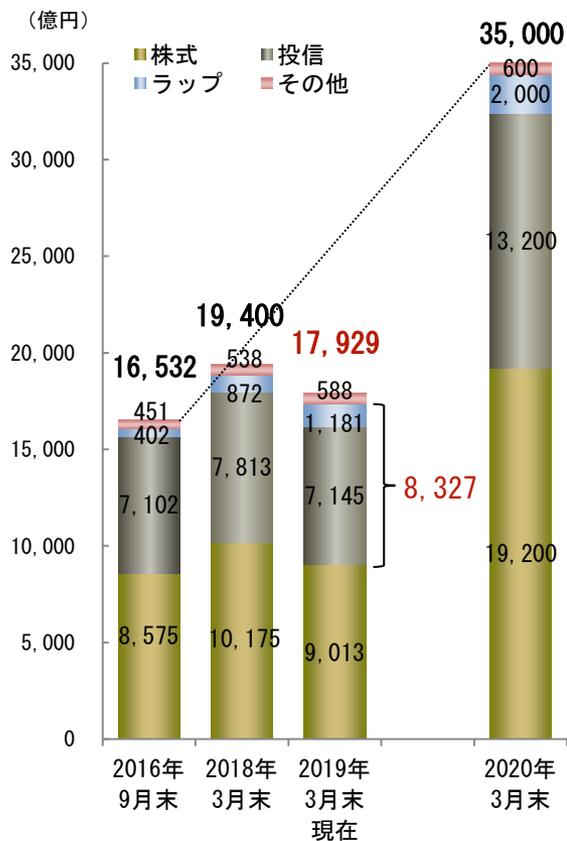
ROE 15%以上

主幹事70社

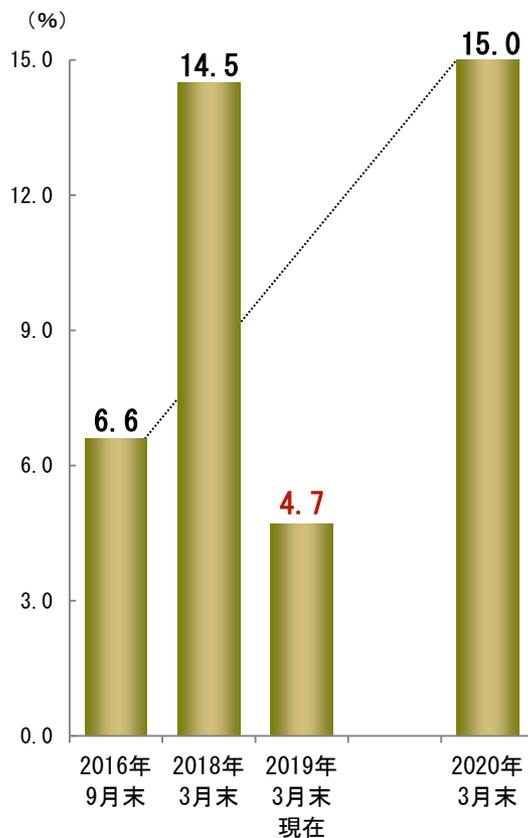
(単位：億円)

## 30ヶ月 42ヶ月 の進捗状況

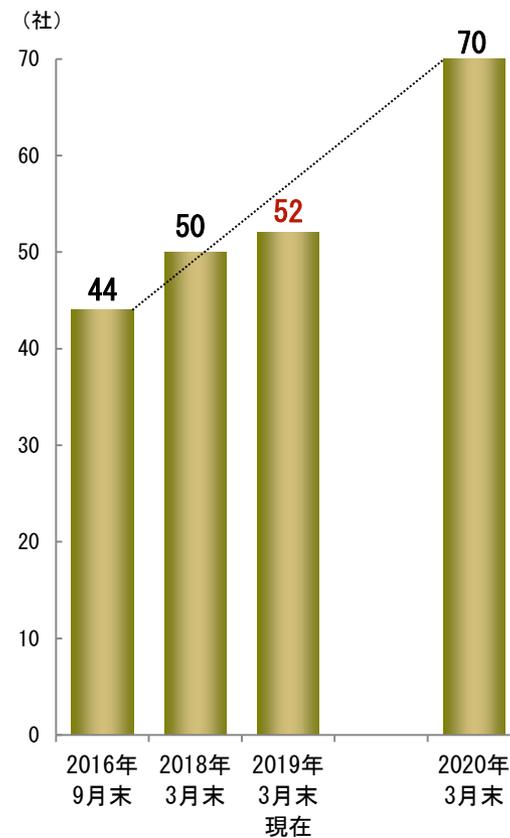
### 預り資産



### ROE



### 主幹事会社数



## 第三部：今後の経営戦略

---

1

中期経営計画達成に向けたリテール部門の「預り資産」  
拡大と内外機関投資家の運用ニーズへの対応

2

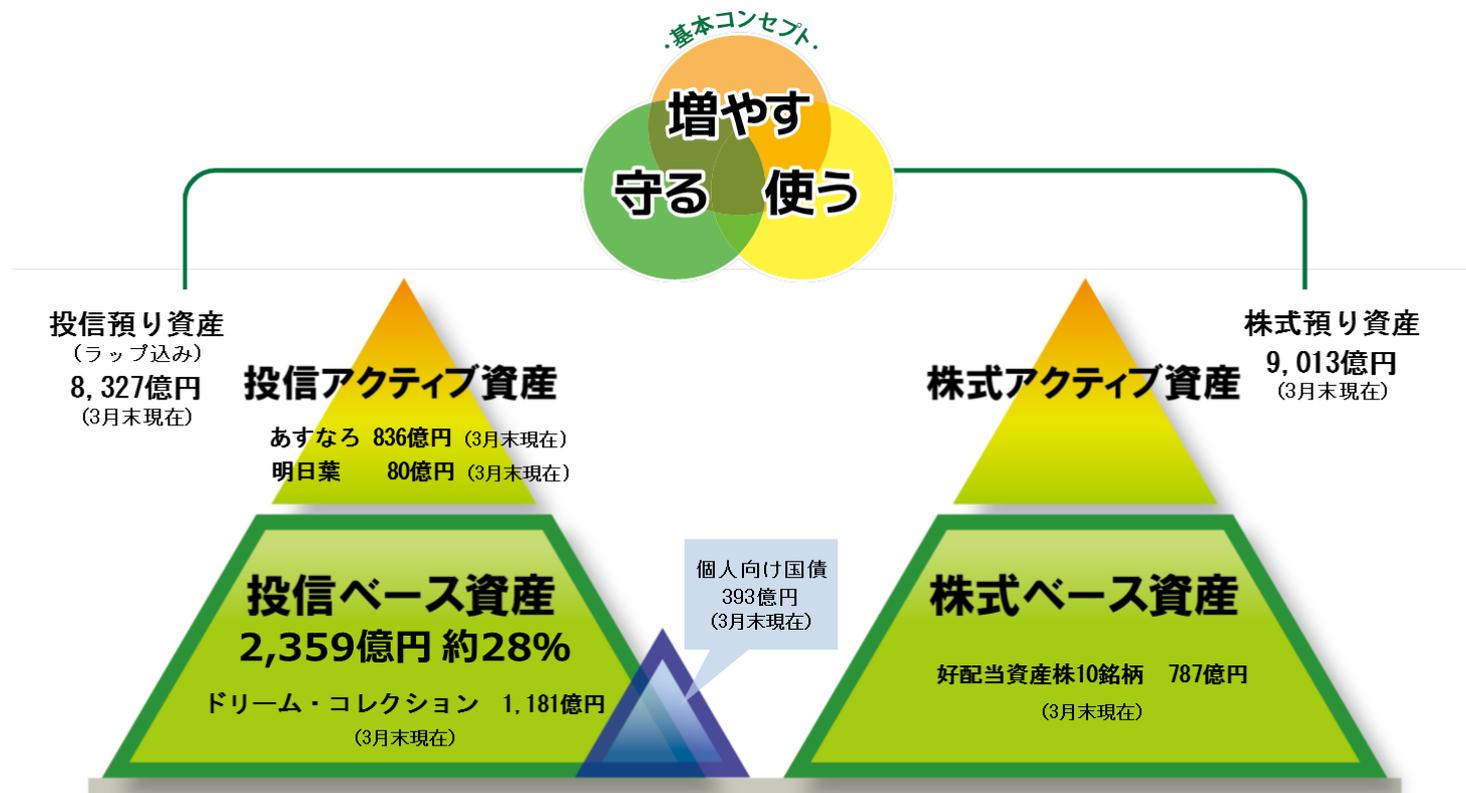
「トライアングル・ピラミッド経営」による  
シナジー効果

3

コーポレート・ガバナンスの強化充実

# 1. 中期経営計画達成に向けたリテール部門の「預り資産」拡大と内外機関投資家の運用ニーズへの対応

リテール部門 ～「守る・増やす・使う」を基本コンセプトとした提案外交で預り資産を拡大

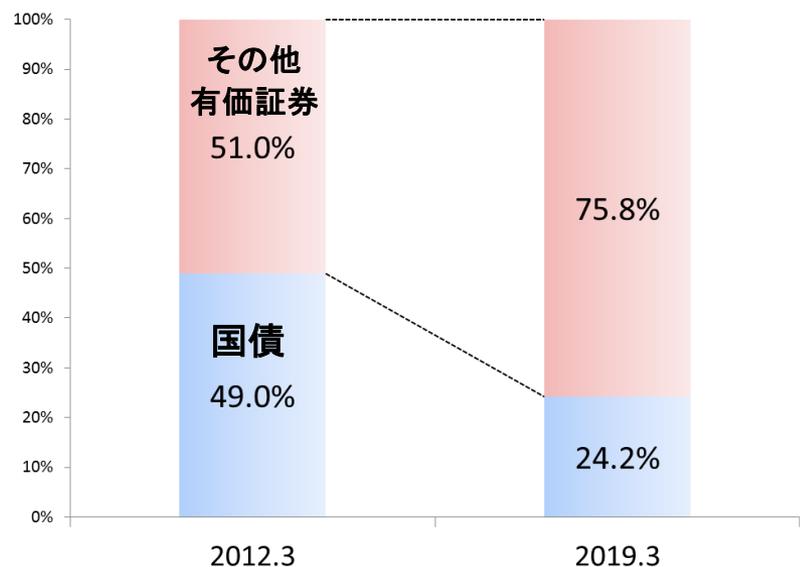


家計の現金・預金**980兆円**

- ・ ファンドラップを中心とした「ベース資産」と「アクティブ資産」の拡大
- ・ シニア富裕層とのリレーション構築
- ・ 新規開拓と未稼働顧客の稼働化

# 内外機関投資家 ～ 地域金融機関及び外国人投資家の中小型成長株への運用ニーズの高まりに応える

## 地方銀行の有価証券構成比率の推移

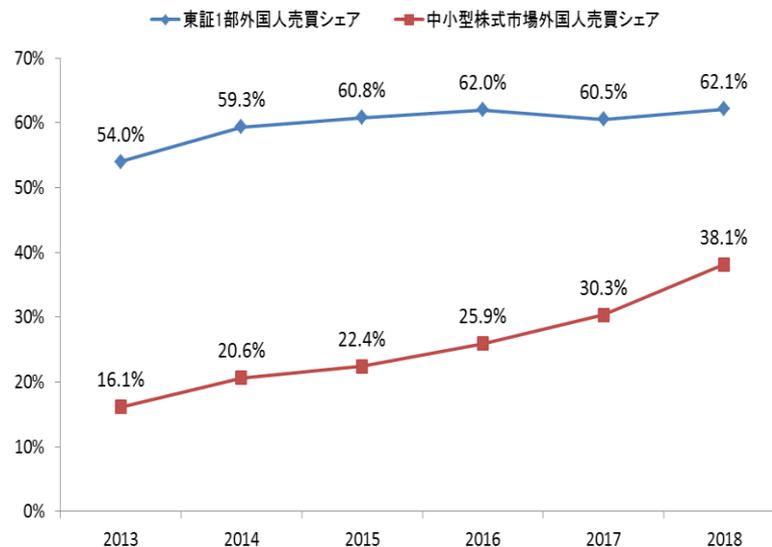


(出所: 日本銀行: 民間金融機関の資産・負債より いちよし証券作成)

日本国債の利回り低下により、地域金融機関が国債以外の有価証券投資比率を高めている状況に応じ、当社が得意とする中小型成長株を核とした地域金融機関向け私募投信(プロ私募)の提案強化

## 東証1部と中小型株式市場の外国人売買シェア推移

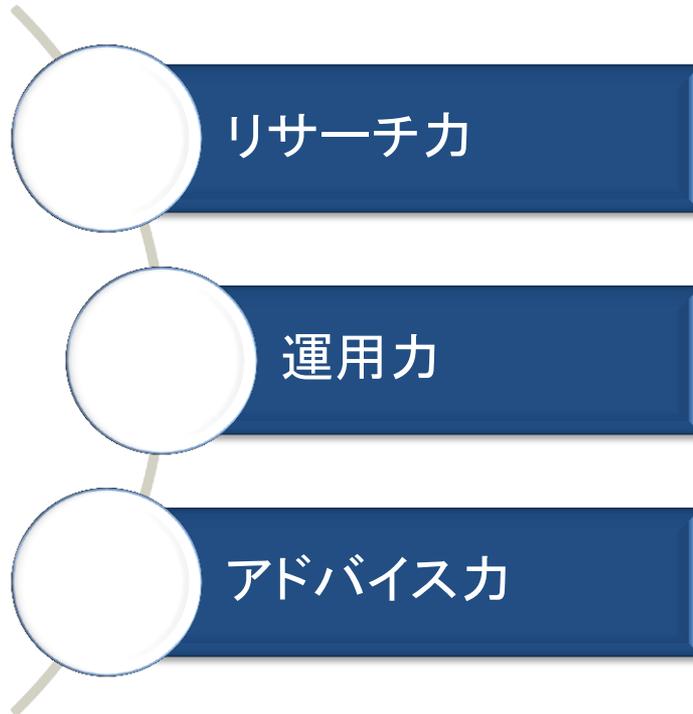
※ 中小型株式市場 = 東証2部、ジャスダック、マザーズ



(出所: 東京証券取引所: 投資部門別 株式売買状況より いちよし証券作成)

近年、中小型株式市場における外国人売買シェアが拡大  
外国人投資家の国内中小型成長株への関心が高まるなか、  
シャペロニングによる米国内機関投資家へのアプローチを強化

「トライアングル・ピラミッド経営」によるグループの総合力を最大限に発揮する

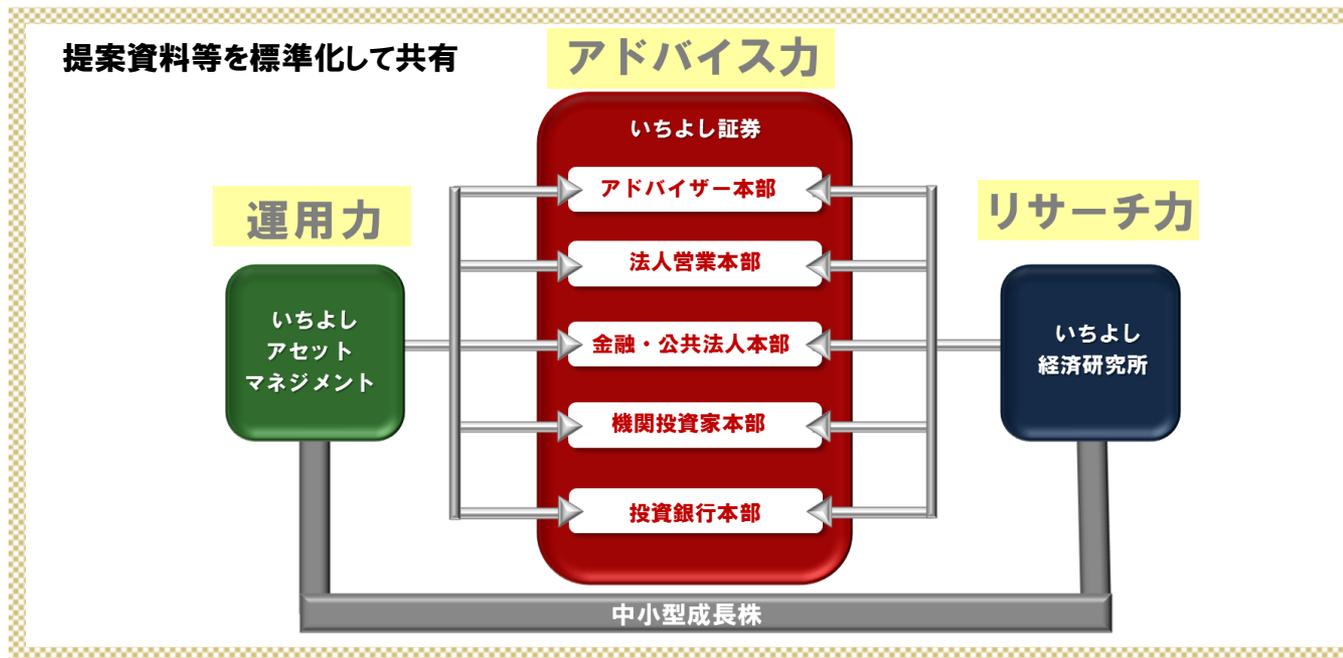
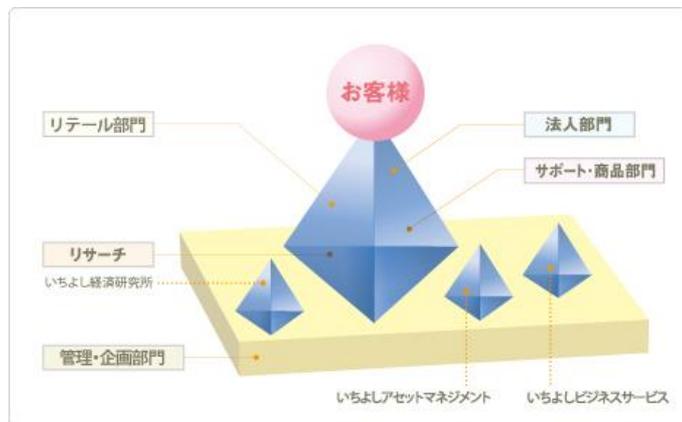


いちよし経済研究所  
中小型成長株リサーチ力 国内No.1

いちよしアセットマネジメント  
運用資産残高は過去最高水準を維持

いちよし証券  
アセットを積み上げるストック型のビジネスモデル  
2つの特化戦略

# トライアングル・ピラミッド経営



# いちよし経済研究所の「リサーチ力」

17名のアナリストを擁し、一人あたり月間平均14本の個別企業レポートを発行

中小型・新興市場のカバー率はトップ

(レポート作成企業数 約770社、ユニバース企業数 約570社、レーティング企業数 約270社)

新興市場部門アクセス比率ランキングにて15年連続第1位

2018年ベストリサーチハウス・ランキング

■新興市場部門 新興市場部門で15年連続No.1

順位	証券会社名	アクセス比率
1	いちよし経済研究所	26.40%
2	野村証券	10.88%
3	東海東京調査センター	9.90%
4	みずほ証券	9.33%
5	SMBC日興証券	8.43%
6	大和証券グループ	4.87%
7	エース経済研究所	4.82%
8	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	4.73%
9	ゴールドマン・サックス証券	2.52%
10	クレディ・スイス証券	2.36%

■1部・2部市場部門 2017年9位から7位へ

順位	証券会社名	アクセス比率
1	野村証券	13.31%
2	SMBC日興証券	10.06%
3	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	9.34%
4	みずほ証券	9.12%
5	モルガン・スタンレーMUFG証券	7.33%
6	JPモルガン証券	6.40%
7	いちよし経済研究所	5.40%
8	大和証券グループ	5.07%
9	東海東京調査センター	4.64%
10	UBS証券	4.33%

■銘柄・セクター部門 2017年10位から8位へ

順位	証券会社名	アクセス比率
1	野村証券	15.24%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	10.28%
3	SMBC日興証券	9.55%
4	みずほ証券	8.89%
5	モルガン・スタンレーMUFG証券	7.20%
6	JPモルガン証券	6.28%
7	大和証券グループ	5.14%
8	いちよし経済研究所	5.04%
9	ゴールドマン・サックス証券	4.56%
10	クレディ・スイス証券	4.28%

(ランキング出所：J-MONEY2019April)

英文レポートの充実を図り、海外投資家のニーズにも対応

# いちよしアセットマネジメントの「運用力」

5名のファンドマネージャーによるボトムアップリサーチに基づいた中小型株式のアクティブ運用

いちよし中小型成長株ファンド（愛称：あすなる）は国内中小型株式ファンドの純資産残高日本一

いちよしアセットマネジメント  
運用資産残高の推移

【参考】国内中小型株式ファンド純資産残高上位5位

順位	ファンド名（愛称）	純資産
1	いちよし中小型成長株ファンド（あすなる）	858.31億円
2	SBI中小型割安成長株ファンドジェイリバイブ（年2回決算型）	421.22億円
3	日本厳選中小型株ファンド	413.39億円
4	フィデリティ・日本小型株・ファンド	300.32億円
5	小型株ファンド（グローイング・アップ）	297.33億円

（一般社団法人投資信託協会のデータをもとにいちよし証券作成 2019年3月29日現在）



（単位：百万円）

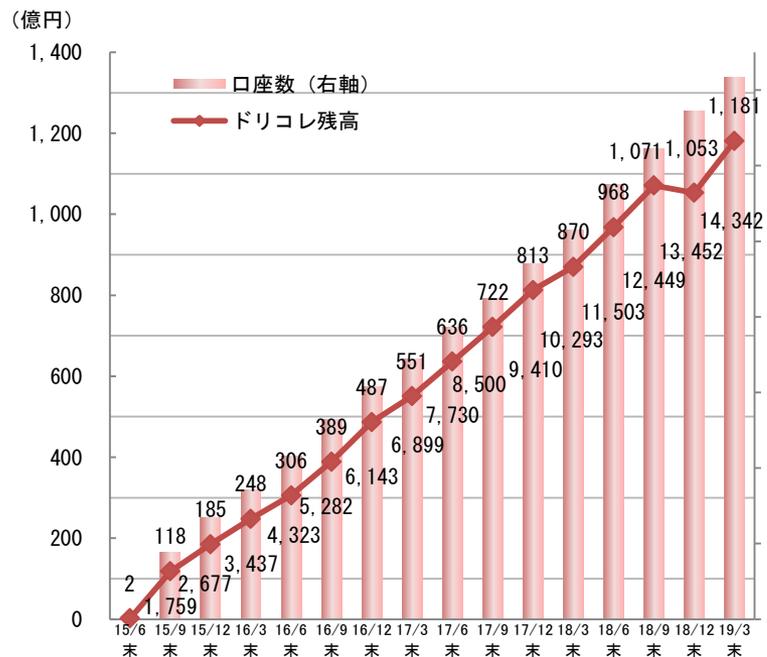
# いちよし証券の「アドバイスカ」

## アセットを積み上げるストック型のビジネスモデル

- 2つの特化戦略
- ① 個人富裕層の金融資産運用サービス特化
  - ② 中小型成長株と中堅企業、地域金融機関のニーズ対応サービス特化

### ドリコレ※残高推移

※ いちよしファンドラップ「ドリーム・コレクション」の愛称



### あすなる※残高推移

※ いちよし中小型成長株ファンドの愛称



当社は、コーポレート・ガバナンスを経営における最重要課題の一つとしています

いちよしの credo(企業理念)

「いちよしの credo」の下、経営の公正性及び透明性を高めた機動的かつ適切な意思決定の実行

サステナビリティ

企業活動を通じ、環境・社会・経済に与える影響を考慮した当社の持続可能な成長の実現

株主還元

適切な利益還元の継続と更なる充実

## いちよしのクレド

### 経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

### 経営目標

金融・証券界のブランド・プティックハウス

### 行動指針

感謝 誠実 勇気 迅速 継続

Long Term Good Relation

#### 社員のために

社員の個性を尊重し人材の育成に努める

#### いちよし精神

情熱をもって、真摯に努力し続けます。

#### 働きがい

チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風上を構築します。

#### 株主のために

持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める

#### 株主還元

事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。

#### 情報の開示

経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。

#### お客様のために

一人、一人の『いちぼん』でありたい

#### お客様第一

常に、お客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスを行います。

#### 良質なサービス

社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。

#### 社会のために

金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する

#### 社会的責任

法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

#### 社会貢献

企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

## いちよし基準

### 個人のお客様向け商品についての原理原則

売れる商品でも、  
売らない信念。

私たちは、お断りする事があります。

「いちよし基準」＝「個人のお客様向け商品についての原理原則」

- 公募仕組債は取り扱いしません。
  - 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いしません。
  - 私募ファンドを取り扱いません。
  - 個別外国株は、勧誘しません。
  - 外国株は投信での保有をお勧めします。
  - 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
  - 先物・オプションは勧誘しません。
  - FX(外為証拠金取引)は取り扱いしません。
- 私たちは、この「いちよし基準」を20年来守り続けています。

お客様の資産を安全・着実にじっくりと増やしていくための、お役に立ちたいというのが当社の役職員の思いです。単に商品の品揃えをするだけでなく、私たちがご紹介する商品やサービスがいつもお客様の大切な資産を安心して中長期に保有して頂けるよう、あえてお断りする事があります。私たちは、お客様に信頼して頂き、より長い間お付き合いをして頂くことを目指します。

選ばれ続ける証券会社へ。

 いちよし証券

# いちよし証券の「社会貢献活動」

 <small>写真提供 / 公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン</small>	 <small>写真提供 / 国際環境NGO FoE Japan</small>	 <small>写真提供 / 認定NPO法人 世界の医療団</small>	 <small>写真提供 / 公益財団法人日本盲導犬協会</small>
<b>校舎建設プロジェクト</b>	<b>いちよしマングローブの森プロジェクト</b>	<b>人道医療支援プロジェクト</b>	<b>いちよし盲導犬育成プロジェクト</b>
<b>東アジアに8カ国 11校建設</b> <small>(1996年～2019年3月現在)</small>	<b>累計植林数 約350,000本</b> <small>(2009年～2019年3月現在)</small> <small>※「気候変動被害を受けるコミュニティ支援プロジェクト」 2015年より同時進行中</small>	<b>小児用予防接種ワクチン 約740,000人相当</b> <small>(2009年～2019年3月現在)</small>	<b>盲導犬 6頭がデビュー</b> <small>(2005年～2019年3月現在)</small>

## 当社の社会貢献活動はここから始まりました



中国 雲南省中甸県

### 一吉中甸友誼小学校

1996年2月、中国の雲南省でマグニチュード7の大地震が発生しました。この大震災からの復興を願い小学校の建設資金を寄付しました。

## 校舎建設プロジェクト～創立70周年記念プロジェクトスタート

2020年の創立70周年に向けた記念プロジェクトとして、ベトナム校舎建設がスタートしました。  
ベトナム北部ハザン省ホアンズィ郡トゥンヤンコミュニーナフ村にある小学校分校に新しい教室の建設および男女別トイレの設置を通じて、子どもたちの学習環境の改善を目指します。  
ベトナムでは2017年に続き2校目、校舎建設プロジェクト全体としては12校目の学校となります。



- 当社は、「証券会社の社会的役割は資本市場の担い手としてお客様本位の良質な商品・サービスを提供することにより資産運用ニーズに応えることや国や企業の資金調達ニーズに応えていくこと」と考えており、この企業活動を通じて、地域社会や金融・証券市場の発展に貢献してまいります

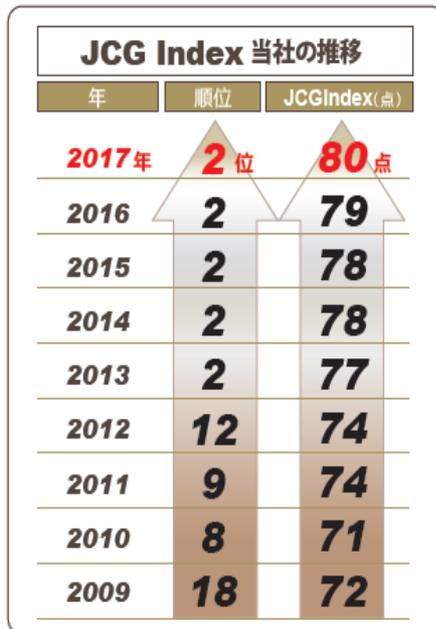
JCGインデックスにおいて金融機関の第1位

- ・日本コーポレート・ガバナンス研究所が公表している「JCGインデックス」において総合2位、  
**金融機関では1位に選定**

日本コーポレート・ガバナンス研究所  
「JCGインデックス」(2017年)

順位	前回 順位	JCG Index	企業名
1	1	89	ソニー株式会社
<b>2</b>	<b>2</b>	<b>80</b>	<b>いちよし証券株式会社</b>
3	5	79	エーザイ株式会社
3	2	79	株式会社日立製作所
5	8	78	コニカミノルタ株式会社
5	2	78	オムロン株式会社
5	5	78	スミダコーポレーション株式会社
8	-	76	※(2社)

※ ( ) 内は公表を希望しない会社数



出所：日本コーポレート・ガバナンス研究所  
ランキングは2018年2月公表

当社の主な取組み

- ・ガバナンス体制
  - 2003年 現在の「指名委員会等設置会社」制度を導入
- ・株主総会
  - 2001年 土曜日開催
  - 2002年 株主懇談会開催
- ・IR活動
  - 2000年 機関投資家向け、個人投資家向け説明会を開始
  - 2005年 海外機関投資家向け説明会を開始



**いちよし証券株式会社 広報室**

TEL:03-3555-6343 FAX:03-3555-2165

<https://www.ichiyoshi.co.jp>

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更することもあります。

この資料は2019年3月31日現在のデータに基づき作成しております。

商号等:いちよし証券株式会社 金融商品取引業者  
関東財務局長(金商)第24号  
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

2019年6月作成



「ツル」鹿児島県 出水市

日本には四季がある、折々の出会いもある。

日本各地の祭りや行事に集まる人々、四季の花々、季節の生き物たちなど、心温まる季節感を全国各地に追って紹介します。味のある集いをお楽しみ下さい。



毎週日曜よる8時54分～

※放送時間は変更になる場合があります

